

地域リハOT便り vol.2

令和 元年

10月

地域リハビリテーション部では、地域に貢献できるよう、行政や各種団体からの依頼（講師や委員など）に対応できるよう各市町に担当部員を配置し、連絡、調整を行っています。

地域リハOT便りでは、地域で活躍する各市町の作業療法士の取り組みを紹介していきたいと思っています。

今回は、志摩・鳥羽市での取り組みについて、紹介させていただきます。

志摩・鳥羽市での取り組み（地域リハ部・志摩鳥羽市担当：竹内元輝）

志摩・鳥羽市では毎年4月に行われる「志摩ロードパーティー」、毎月1回行われる「自立支援型地域ケア会議」、「介護予防事業の取り組み」について紹介します。



志摩ロードパーティーは、志摩の魅力を走りつくすハーフマラソンをメイン種目に、ジェットコースター級の坂道を駆ける10kmコース、子供向けのパルケジュニアラン(約3km)、仮装大歓迎でランニングを楽しめるパルケパーティーラン、身体不自由な方にもスポーツの楽しさを実感いただけるバリアフリーパーティーラン、志摩の景観と食を堪能する「ごちそうウォーク」と多彩な種目で開催します。

作業療法士は毎年リハレンジャーとして、バリアフリーパーティーランの参加者と一緒に体操を行ったり、参加者の誘導等のお手伝いを行っています。

志摩市の自立支援型地域ケア会議は、作業療法士もアドバイザーとして参加しています。頻度は月1回、2時間で4ケースの検討を行っています。

アドバイザーは、医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、PT、OT、ST、生活支援コーディネーター、保健師等で構成されています。

鳥羽市でも、平成31年度から作業療法士がケア会議に参加することになり、6名の作業療法士が輪番で担当しています。



介護予防事業では、肩・腰・膝の痛み予防に関する講義、個別評価、運動紹介、認知症予防の講義を行いました。今年度は、サロンでフレイルについての講義、実技を行っています。

地域の取り組みに作業療法士が関わることで、地域住民をはじめ、様々な職種の方々にも作業療法について知ってもらえるよう活動を続けていこうと思います。